

図書館だより

第152号

2023年3月1日(水)発行
茨城県立筑波高等学校 図書委員会

☆学校図書館にはいくつかのエリア・スペース・コーナーがあります。

- ・ エリアについては、書架エリアがあり、日本十進分類法により、0「総記」～9「文学」に分類されています。
- ・ スペースについては、「閲覧スペース」、「ブラウジングスペース」、そして「学習スペース」に分けられます。
- ・ コーナーについては、新着本コーナー、雑誌・週刊誌コーナー、新聞コーナー、地域郷土資料コーナー、資格コーナー、インターネットコーナー、CD・DVDコーナー、展示コーナーなどがあります。

3学年の先生が推薦する、卒業生に読んで欲しい図書(その2)

【山崎かおひ先生が卒業生に推薦する図書】

【推薦図書1冊目】

- ・ 書籍名: すごすぎる天気の本
- ・ 著者名: 荒木 健太郎
- ・ 出版社: KADOKAWA
- ・ 推薦の理由: 「1時間に100ミリの雨の重さは力士1人分」「雹を輪切りにすると年輪みたいな模様がある」など空の不思議を映画「天気の子」の気象監修をした本県出身の著者がわかりやすく教えてください。空の仕組みを少しでも知っておくと美しい空に出会える確率が高まるそうです。



【推薦図書2冊目】

- ・ 書籍名: いつでも君のそばにいる 小さなちいさな優しい世界
- ・ 著者名: リト@葉っぱ切り絵
- ・ 出版社: 講談社
- ・ 推薦の理由: 1枚の小さな葉っぱの上に広がる、優しくもどこかユーモラスな動物たちの世界(物語)に心癒やされます。さらにページをめくる度、切り絵の精巧さにも驚かされます。見て読んで癒やされて楽しめる葉っぱ切り絵絵本です。葉っぱの中の世界に迷い込んでみてくださいよ!



【木崎先生が推薦する図書】

- ・ 書籍名: アントキノイノチ
- ・ 著者名: さだ まさし
- ・ 出版社: 幻冬舎文庫
- ・ 推薦の理由: 私がさだまさしさんのファンということもあるが、この本はさだまさしさんが著作した小説である。ストーリーは高校生A氏が同級生とのトラブルをきっかけにトラウマとなり鬱病になってしまう。いちばんの原因はクラス内でのいじめのために、自分の親友が自殺してしまったことであり、いじめた相手に対して敵意を抱き始めるとともに、殺意を持って殺そうとしたこともあった。高校卒業後は遺品整理会社に就職したA氏にいつか遺品整理中に高校時代のトラウマが甦ってしまい、また悩み始める。“悩みが多いのは自分だけ!”という気持ちでいたのか?しかし、同じ会社に勤めている女性の敏感さが気になったA氏はある日彼女に尋ねてみると、自分以上に辛い過去があったことが判明するという内容である。人の過去は見た目ではわからない!人には人それぞれの悩みがあり、悩みをもとにこれからの成長に導くために必要不可欠な一冊だと考えます。



- ・書籍名: 足寄り
- ・著者名: 松山 千春
- ・出版者: 扶桑者

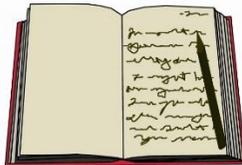
・推薦の理由: 私が松山千春さんのファンであることもあるが、この一冊には松山千春の波乱万丈の人生が描かれている。内容は松山千春が未熟児で生まれ、当時膨大な医療を費やしたために、松山家の家計は破綻寸前の状況であり、毎日母親と近くのゴミ捨て場に行き、要のものを拾い集めて売ったこともあった。そのようなこともあり、近所からは冷たい視線で見られ、小学校の時にはじめにも遭っていた。高校卒業後も父親の新聞社の手伝いを行った。ある日、北海道のフォーク祭に出場したが、他の出場者とは異なった作業着姿で出場したために観客に笑われてしまう。自分で作曲した曲も途中キーを間違えてしまい、結局落選してしまった。嫌気がさして帰ろうとした時に、審査員をしていた武田ディレクターに呼び止められた。落選した松山千春の歌声と曲について魅力を感じた武田ディレクターはその後松山千春と強く関わることにした。のち地方のラジオ番組に出演し、松山千春のデビューが決まった。松山にとって恩人的存在であり、頼りにしていた武田ディレクターであったが、松山千春がデビューして間もなく不幸にも亡くなってしまふ。すべて空白の状態に陥った松山は立ち上がることになるが、その後も負けずに自分を信じて歌い続けて来たという実話集である。人には大きなチャンスが人生の中で少なくとも3回はあると言われている。自分の将来にもチャンスが訪れる日も来る。特に若い頃は失敗を恐れずに何でも挑戦すると言う気持ちを持つことが大切であることを教えてくれる一冊であり、これからのチャンスが望める高校生の皆さんにお薦めしたい。



☆11月の新着本紹介!

第150号では11月の新着本の一部を紹介しましたが、ここでは残りを紹介したいと思います。

No	書籍名(※11月18日[金]着書籍)	著者名	出版社
1	特許やぶりの女王弁理士・大鳳未来	南原 詠	宝島社
2	六つの村を超えてひげをなびかせる者	西條 奈加	PHP研究所
3	明日へのペダル	熊谷 達也	NHK出版
4	カレーの時間	寺地 はるな	実業之日本社
5	脱北航路	月村 了衛	幻冬舎文庫
6	八月の母	早見 和馬	KADOKAWA
7	図書室のはこぶね	名取 佐和子	実業之日本社
8	オオルリ流星群	伊与原 新	KADAKAWA



☆令和5年度の図書館行事予定

【装飾】 4月 桜 5月 こいのぼり 6月 あじさい 7月 七夕・夏休み・すいか	  	9月 秋、ハロウィン 10月 ハロウィン 11月 紅葉 12月 クリスマス、雪だるま 1月 雪だるま、お正月、百人一首 2月 バレンタイン 3月 ひな祭り、ホワイトデー	 
【行事】 6月 推薦する図書(生徒) 7月 読書感想文、七夕(短冊) 8月 文学散歩		9月 推薦する図書(職員) 12月・1月 読書感想画コンクール作品作成 2月 卒業生に読んで欲しい本の推薦(3学年職員)	

☆ 次年度も「図書館だより」を発行しますので、みんな読んでくださいね!

